

まちのニュース カメラアイ ～地域の問題をお届けします～



2/2
(金)

知っておきたい認知症の知識

和寒町包括支援センター（町保健福祉課内）主催の認知症講演会を開催しました。

講師に相川記念病院 認知症疾患医療センターの中條 拓 センター長を招き、認知症の症状や診断・治療・予防方法について話していただきました。

「認知症ケアは相手を観察し、どうしてもらいたいのかを想像して実践することが大切」と、具体的な関わり方についてお話しいただき、約80名の来場者は真剣に耳を傾け、認知症への理解を深めていました。



1/26
(金)

年をとっても住みたい町

公民館恵み野ホールで第1回女性セミナーが開催され、『年をとっても住みたい町』と題し、辻博幸 保健福祉課長と19名の参加者による座談会が行われました。

たくさんのお菓子と飲み物を楽しみながら、これからの自分たちの生活と健康、家、和寒の高齢者にとっての生活インフラの問題等、多岐にわたって話し合われました。



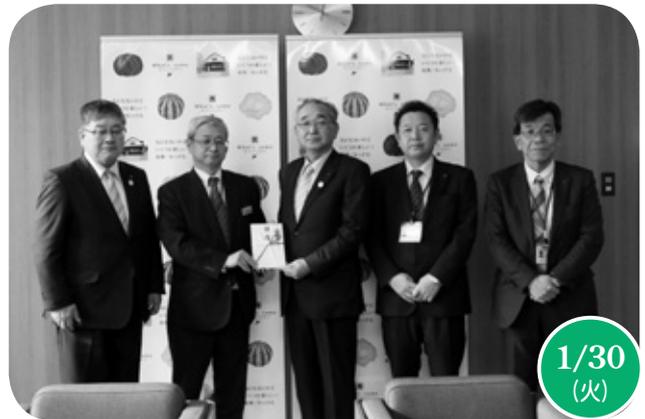
2/3
(土)

ビッグすべり台を作ろう！

第9回目のドキドキクラブでは、恵み野ホール前庭の雪山を活用し、大きなすべり台を作りました。

この日は、旭川大学齋藤ゼミナールの学生3名にも協力をいただき、宝探しゲームを行いました。

子どもたちは雪の中を転がりながらお宝を探し当て、冬の外遊びを満喫していました。



1/30
(火)

熊用の箱わなをいただきました

J A北ひびき（西本護代表理事組合長）から、熊による人的被害や農業被害を減らすため、大きな箱わなを寄贈していただきました。

箱わなは高さ170cm、幅108cm、奥行き250cmで重さが約670kgもある大きなもので、これからの対策に活用させていただきます。



吹矢式呼吸法で健康増進

スポーツ吹矢協会和寒支部が、町民向けの無料体験教室を開催しました。

スポーツ吹矢は、運動能力や腕力を必要としないため、年齢や性別に関係なく誰でも気軽に楽しめるスポーツです。

また、吹矢式呼吸法で健康増進にも効果があり、約15名の参加者はそれぞれの間合いで吹矢を楽しんでいました。



ロシアから和寒に 国際交流

和寒町国際交流の会では年2回、外国人留学生を受け入れており、今年ロシアからの留学生6名が和寒町に滞在しました。

この日は中学生との交流が行われ、毛筆の授業を体験しました。

留学生の皆さんは初めての筆にとまどいつつ、となりの生徒に書き順を聞きながら漢字に挑戦していました。



第17回レディースミニバレー大会

和寒町ミニバレー協会主催のレディース大会が総合体育館で開催され、10チームの選手たちが汗を流し、交流を深めていました。

成績（優勝チームのみ掲載）（敬称略）

ミドルの部優勝 あけみ〜ず

（松村あけみ、大野由美子、諸岡光千江、乗田結香）

シニアの部優勝 年金友の会

（本舘美智子、澤井廣子、十川富久美、丹弘子）



冬も地域で交通安全

三和・菊野自治会で「第25回三和しばれぶつとばせフェスティバル&冬の交通安全スポーツの集い」が開催されました。

イベントの開会にあたり、「交通安全宣言」を約60名が一斉に読み上げ、交通安全への気持ちを新たにしました。

集まった自治会員は豚汁や甘酒などで体を温めながら軽スポーツで交流を深め、冬の1日を楽しんでいました。